

## 深山明博士記念号の発行に際して

深山明教授は、2017年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。深山教授は、関西学院大学商学部に就任されて爾来40年の長きにわたって研究・教育、後進の育成ならびに行政において多大な貢献をされてこられました。

深山明教授は、1968年4月に関西学院大学商学部に入學され、1972年3月に同学部をご卒業になりました。その後、関西学院大学大学院商学研究科修士課程、同博士課程へと進学されました。1977年4月関西学院大学商学部専任講師に就任され、1981年4月に同大学助教授、1987年4月に教授となりました。商学部では、経営学原理、経営生産論、工業経営論などの講義を担当されました。商学部における行政面では、教務副主任、教務主任、商学研究科教務・学生副委員、商学研究科教務・学生委員を歴任され、2004年4月から2年間、商学部長・商学研究科委員長として重責を果たされました。先生は商学部生え抜きの教員としての豊富な知識と見識をお持ちで、我々後輩は折に触れさまざまなご助力とご指導を頂きました。また、関西学院大学学生部委員、関西学院大学産業研究所評議員、評価情報分析室副室長として関西学院大学の行政にも貢献されてこられました。

深山明教授のご専門は、経営経済学であり、博士学位論文『西ドイツ固定費理論』で1990年に関西学院大学より博士学位を授与され

ておられます。先生は、ドイツの経営経済学の長い伝統に根差した生産・原価理論を考察されてこられました。先生は数多くの研究論文、編著書、翻訳および監訳などとともに単著4冊を出版されてこられました。さらに最近では、危機マネジメントの研究に力を注いでおられ、企業危機に関する単著を近々出版される予定とお聞きしています。また深山明教授は、日本経営学会関西部会幹事、日本経営学会幹事、日本経営学会理事、日本経営学会常任理事として学会に貢献されてこられました。

深山明教授のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できますことは大きな喜びであります。最後になりましたが、この記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、また編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2017年1月

商学部長 井上達男